

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第10区)

東京都選挙管理委員会

日本の未来のため、実現すべき政策

企業団体献金の禁止

毎年巨額の企業・団体献金が政界に流れ込んでいます。一部の資金力のあるグループに偏ることなく、できるだけ多くの皆さんが恩恵を受けられる政策を実現するため、企業・団体献金を禁止します。

教育予算の大幅増で、未来への投資

教育を未来への投資としてとらえる姿勢を徹底し、給付型奨学金の拡充を進めます。少人数学級とフリースクールの併用で個を伸ばし「目の届く」公教育を強化します。

UP 声だけでなく本気の賃上げ

大企業の内部留保(貯金)が600兆円を超えるほどに積みあがっています。これを賃上げの原資にしたい。内部留保に課税することで、納税額を減らしたいなら賃上げや設備投資に支出するよう、方向づけていきます。賃上げの原資が捻出しにくい中小企業には多様な助成金を用意して、しっかり国が並走してゆきます。

強い日本外交

多くの批判を受けながらも戦時下のウクライナに渡り、日本外交や支援の問題点を浮き彫りにしました。語学力と交渉力だけでなく、大使の民間登用の拡大、インテリジェンス機能の強化などを通じて日本外交を強くします。

金融所得課税の強化で、格差の是正を

株でいくら儲けても20%しか税金がかからない、金融所得課税の強化にも踏みこみます。財源を失業手当の強化やリスクリング、ひとり親家庭の支援など格差は正に投入します。

アジア共同通貨圏構想

アジアの通貨を一つにしたい。通貨が一つになることで、新興国のエネルギーを取り込むだけでなく、本当の永久平和が訪れると考えます。幾多の課題はありますが、大きなビジョンと実践の積み重ねをスタートしています。

経済再生というかけ声がむなしく響き続けたこの30年、一人当たりGDPは世界で34位まで落ち、ワーキングホリデーとして「出稼ぎ」に出る若者も年間数万人。ひとり親家庭の貧困率が5割を超えるという過酷な状況にも関わらず、株高や長期にわたる円安の恩恵はほんの一握りの人々に限られています。これを変えていく。変えなければ、先にあるのは私や皆さんの子供や孫たちが海外に出稼ぎに行くのが当たり前という日本です。絶対にそんな国にしない。

1975年豊島区生まれ。コロンビア大学院修了、ロンドン大院(LSE)修了、立教大学卒。レスリング部主将大学時代にパレスチナ・ガザ地区、アフガニスタン、ルワンダなど紛争地をめぐり、世界の理不尽な現実を前に政治家を志す。NHKの事件記者を経て、留学・帰国後、シェアハウスや飲食店の会社を起業。立教大学経済学部兼任講師、国交省観光アドバイザーなどを務め、2021年衆議院議員初当選。

誰もが「居場所」のある社会を作りたい。



鈴木
ようすけ
立憲民主党公認

政策力×実行力=「もっといい明日」

日本再生に向けた 3本の矢

メッセージ

自然災害の激甚化、国際情勢の不安定化、社会規範の崩壊、人口減少、格差拡大など、国家をも揺るがす課題をどう乗り越えていくか。これまでにない大きな課題を抱え、新たな局面を迎えるこの国をどのように方向付けていくか。今ほど私たち日本人の力量が問われる時代はありません。

私は、経済をあらゆる力に変え、国家が徹底して国民の皆さんを守り、国民の皆さんが安心して徳の涵養に努める事のできる、真の意味で豊かな社会を実現していきたいと考えています。

これまで、『認知症基本法』制定や『こども基本法』制定、エネルギー調達先の多角化、再生医療分野の規制改革、『健康経営銘柄』創設などをリードし、実現してきました。

政策力と実行力。このふたつを武器に、みなさんとともに「もっといい明日」を実現していきます。



鈴木
はやと
自民党公認
隼人

プロフィール

・1977年 8月8日生まれ
・1996年 筑波大学附属駒場高校卒業
・2000年 東京大学卒業
・2002年 東京大学大学院修了
・2002~2014年 経済産業省
・2014年 衆議院議員選挙初当選
・『認知症予防の会』代表

衆議院議員 3期

比例代表も自民党へ

1「危機対応型」国家への転換

政策1 災害対策を抜本的に強化する

- ・防災リテラシー向上
- ・国土強靱化
- ・防災テクノロジー開発
- ・災害関連死対策 など

政策2 ソフトとハードの両面攻撃から日本の社会を守り抜く

- ・情報戦、経済戦、文化戦、サイバー戦に対応
- ・総力を結集し、横断的に切れ目なく対処

政策3 徳を基軸とした社会規範を復興する

- ・徳の涵養を基軸とした教育の立て直し
- ・社会規範の復興

2「超成長志向型」産業政策への転換

政策4 「課題突破型産業」を創出する

- ・人口減少、社会保障費の高騰、資源の過度な輸入依存等の社会課題解決と経済成長を同時に実現

政策5 産業の高付加価値化を強力に進める

- ・人材力を活かして稼ぐ力を向上させるため、高付加価値産業にシフト

政策6 拡大するグローバルマーケットを徹底的に取りに行く

- ・一人当たり輸出額を産業構造が似ている他の先進国並みに引き上げる

3「希望の拠り所となる」社会政策への転換

政策7 健康で安定した暮らしを徹底して支える

- ・「誰もが希望を持ち、健康で安定した暮らしを享受できる社会」に向け、行政の役割を抜本拡充

政策8 結婚・子育てや子供の成長を力強く支える

- ・「結婚や子育てに安心して臨むことができ、全ての子どもが健やかに成長できる社会」を実現

政策9 貧困の連鎖を断ち切る

- ・アウトリーチ充実
- ・伴走型支援充実
- ・ハウジングファースト支援 など



日本をなめるな!

もう見過ごしてなんていられない。
私たちはまだやれる。
日本の未来を諦めない。

参政党公約2024 3つの決意と7つの行動

決意1 奪われる日本の国土と富を護り抜く。

- 行動1 積極財政と減税による経済成長で失われた30年に終止符を打つ。
- 行動2 外国資本による日本の買収と過度な移民受け入れに歯止めをかける。

決意2 失われる日本の食と健康を護り抜く。

- 行動3 輸入依存から脱却し食料危機への備えを強化。
- 行動4 ワクチン薬害問題を党をあげて追究し、被害救済申請の負担軽減と審査の迅速化。

決意3 壊される日本の教育と国家アイデンティティを護り抜く。

- 行動5 日本の国柄と国益を守る国家アイデンティティの確立。
- 行動6 若者が未来の社会を動かす国へ。16歳からの投票権。
- 行動7 自民党の憲法改正案に反対し、国民自らが憲法を創る「創憲」を推進。



特設サイトで公約をチェック!



参政党
SANSEITO

比例も 参政党へ

安田
しん
プロフィール

1970年生まれ。東京都豊島区で育つ。東京農業大学農学部農学科を卒業。名古屋商科大学大学院で会計ファイナンスを履修。多くの企業においてコーポレートファイナンスを中心に業務に従事。現在双子の父として自営業の傍ら子育てに奮闘中。

53歳



安田
やすだ
参政党公認
しん

区議会20年の実績

永野ひろ子の政策の支柱

●人への投資●

どんな環境に生まれても誰もが望んだ教育を受け能力を発揮できるよう、人へ投資する予算配分に転換します。出産・教育の無償化、子育て・教育支援給付の所得制限を撤廃します。人への投資でイノベーションを起こし、日本の成長戦略に繋がります。

●地方分権●

当事者の声が政策や意思決定に活きるよう現場主義で活動し、効果的な予算の投入と実効性のある施策展開へつなげます。地域の実情に沿った生活支援、人を助ける施策が充実するよう、基礎自治体の権限・財源を拡充します。

●政治改革●

不透明な政治とカネの問題を透明化し、民間感覚からズレた国会議員特権を廃止します。現職の国会議員が非課税で毎月受け取っている100万円の調査研究広報滞在費は、領収書の提出も必要なく、不透明で特権的な資金。経費であれば使途を公開し、残額は返納する仕組みに改革します。

国会議員
総とつかえ!

永野ひろ子プロフィール

1972年生まれ 豊島区西巣鴨在住 2児の母 法政大学大学院修了
2000年 池袋に行政書士事務所開設
2003年 豊島区議会議員選挙初当選(当時最年少)5期連続当選
2008・10年 豊島区現職議員で初めて出陣
豊島区議会副議長・監査委員 等歴任
2023年 豊島区長選挙惜敗

●病院・福祉施設の理事・評議員歴任 ●日本政治学会会員
●東京JCシニアクラブ／東京商工会議所／豊島法人会／文京童謡の会
／大塚公園ラジオ体操会／文京手話会／文京寺子屋
／文京ダイバーシティ・ユネスコ協会 参加中

永野ひろ子と
お友達になってください
公式 LINE



私は挑戦する。
地域から拓く新しい政治

日本維新の会



永野
ひろ子
日本維新の会

投票日10月27日(日) 午前7時から午後8時まで

- ・期日前投票期間 10月16日(水)～10月26日(土) 午前8時30分から午後8時まで
 - ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
- (期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

東京都第10区に属する区域

- ◎文京区の全域
- ◎豊島区の全域

投票方法

「小選挙区選出議員選挙」と「比例代表選出議員選挙」があります。

- ◇小選挙区選出議員選挙 → 「候補者氏名」を記載
- ◇比例代表選出議員選挙 → 「政党等の名称」を記載